

平成 25 年 4 月 21 日 「今すぐには役にたたない文化講座『塔』」の感想 (株)連空間設計 黒野

東山スカイタワー（展望台高さ約 100m）、名古屋テレビ塔（展望台高さ約 90m）、ミッドランドスクエアの屋外型展望施設スカイプロムナード（展望台高さ約 220m）、の順に巡り、名古屋の街を上から見てきました。

雨予報だったにもかかわらず晴天で、各展望台からの眺めは遠くの山まではっきりと見ることができました。

東山スカイタワーにて、福田さんが資料を見せてくれました。名古屋市の地層分布図・江戸時代・大正時代の地図・300 万年前からの地層分布の変遷・地層断面図！（しかも手書きでさらに遡って、地球誕生の頃までの時代が書き込まれていました・・）などでした。



300 万年前からの地層分布・断面図によるとこのあたりは、昔は旧東海湖の湖底にあったことや、そのすぐ西に琵琶湖があったことや、長いスパンの時間の地層の変遷が分りました。そして、名古屋のまちは、地層分布（土地の起伏など）に基づいてつくられてきたということでした。

名古屋城～大須～熱田の昔からの台地（高地）を中心に栄え、そこから東へ大曾根凹地・八幡山古墳等のある台地・覚王山や東山動物園のある丘陵地など、起伏に合わせてその場所のまちづくりが行われてきたということでした。

今となっては展望台からその起伏はほぼ確認できませんでしたが、昔はもっとまちの起伏が目で確認できていたのだろうと想像しながらの『塔』めぐりは、本当に楽しいものでした。

まちづくりを考えるのに、歴史（地層の 300 万年前！など）をもとに考えることは、すごく大切でおもしろいことだと思いました。

今回の『塔』めぐりでは、横と縦のいたりきたり（体）と、昔と今のいたりきたり（頭）ができました。（福田さんをはじめ、他のみなさんと一緒に登ったおかげです。）

まちにある『塔』は、こういった体験をさせてくれる貴重なものだと思います。

ということでみなさんも、**Let's climb the tower** 「塔に登りましょう！」

東山スカイタワーの眺望



名古屋テレビ塔の眺望



スカイプロムナードの眺望

